



愛川ふれあいの村 11月の風景

平成24年 11月 自然のたより

秋虫の声が聞こえなくなり、静かになった村の自然は冬を迎える準備を始めています。落葉した枝には、野鳥が小さな群れとなり集まっている様子が見られました。冬の訪れを告げるユキムシも舞っています。

<11月の自然のエピソード>
紅葉まつりがおこなわれた中旬に黄葉していたイチヨウが葉を落とし、黄色のじゅうたんを作っています。秋の間中、たくさんの人を楽しませてくれたイロハモミジやメタセコイアも赤や茶色で地面を彩っています。落葉した木々は少し物寂しさを感じますが、これから枝先で羽を休めている野鳥を見つけやすい季節になります。



イロハモミジのグラデーション



ご飯を食べに来たムササビ



ホコリタケ



ツタウルシ



羽ばたくシジュウカラ



黄葉したナツツバキ



いろいろな色のカキの葉



割れ始めたウバユリの実



メタセコイア



カラスウリの実



カマキリの卵



黄葉したカシワ



実をつまんでいるヒドリ



リンドウ